

2006年3月期第1四半期 決算短信添付資料



2005年8月1日

日本たばこ産業株式会社

当資料取扱上の注意点

将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述ないし事実または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます(なおかかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません)。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更(増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等)、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動

■ 2005年度の全社課題

成長戦略の実行と持続的成長に向けた経営活動の推進

■ 2005年度第1四半期総括

事業構造強化施策等の実施に伴う、人員構成、事業構造の変化の中で、「JT PLAN-V」完遂に向けた体制へ円滑に移行

3

MEET
YOUR
DELIGHT 

2005年度第1四半期実績

■ 業績ハイライト

- ◆ 国内における効果的・効率的事業体制への移行、海外たばこ事業の利益成長等により、利益率は大幅に改善

(単位：億円)

	2004年度 第1四半期	2005年度 第1四半期	増減
税込売上高	11,610	11,510	△ 100
税抜売上高	4,944	4,927	△ 16
EBITDA	986	1,158	172
営業利益	674	855	180
経常利益	655	843	188
四半期純利益	433	475	42

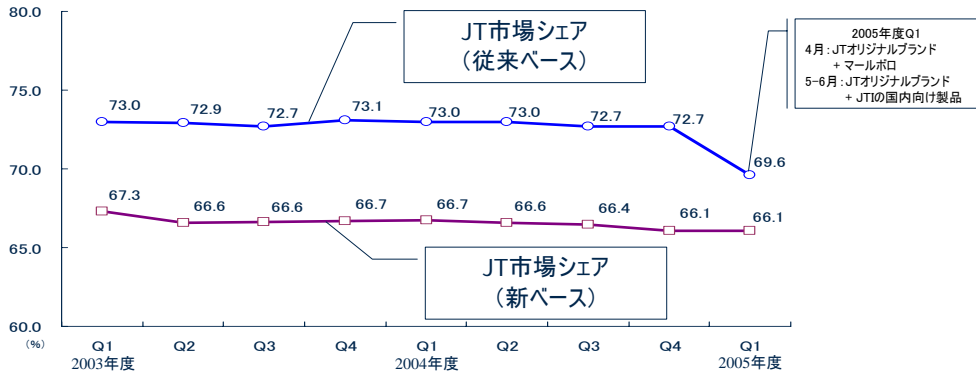
4

MEET
YOUR
DELIGHT 

2005年4-6月期の進捗(国内たばこ事業)

成長戦略の実行と一層のコスト競争力強化

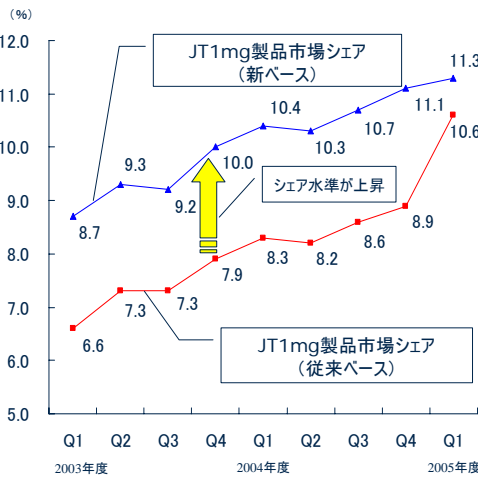
■ 新ベースによるJT市場シェアの傾向は横ばいで推移



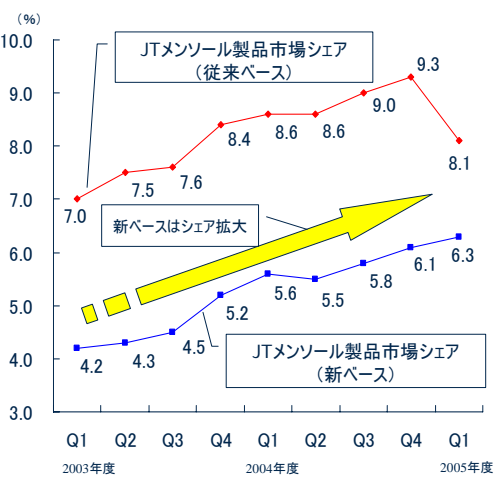
(注1) 図中の数値には中国、香港、マカオ市場および国内免税市場販売分は含まれておりません。
 (注2) 従来ベース: JTオリジナルブランド + 2005年4月末までのマルポロ + 2005年5月以降のJT1の国内向け製品(キャメル・ウイinston・セラム等)
 新ベース: JTオリジナルブランド + JT1の国内向け製品(キャメル・ウイinston・セラム等)

2005年4-6月期の進捗(国内たばこ事業)

■ 1mgセグメント



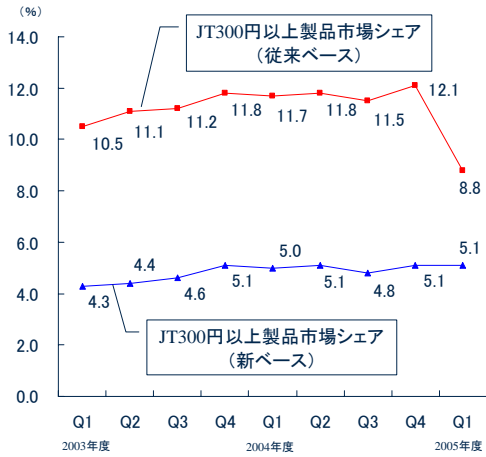
■ メンソールセグメント



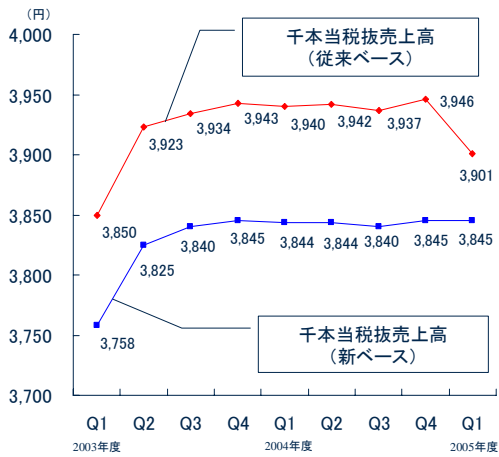
(注1) 図中の数値には中国、香港、マカオ市場および国内免税市場販売分は含まれておりません。
 (注2) 従来ベース: JTオリジナルブランド + 2005年4月末までのマルポロ + 2005年5月以降のJT1の国内向け製品(キャメル・ウイinston・セラム等)
 新ベース: JTオリジナルブランド + JT1の国内向け製品(キャメル・ウイinston・セラム等)

2005年4-6月期の進捗(国内たばこ事業)

■ 300円以上製品セグメント



■ 千本当売上高

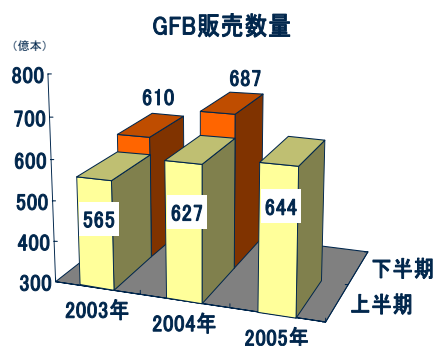
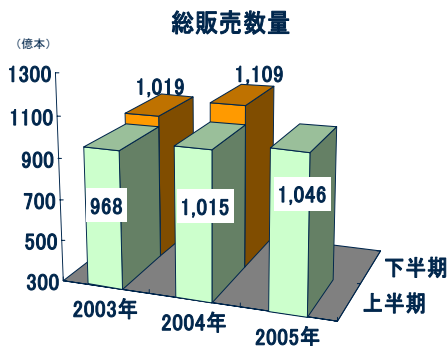


(注1) 図中の数値には中国、香港、マカオ市場および国内免税市場販売分は含まれておりません。
 (注2) 従来ベース: JTオリジナルブランド + 2005年4月末までのマルポロ + 2005年5月以降のJT1の国内向け製品(キャメル・ウinston・セラム等)
 新ベース: JTオリジナルブランド + JT1の国内向け製品(キャメル・ウinston・セラム等)

2005年4-6月期の進捗(海外たばこ事業)

GFBブランド価値の強化と中核市場の育成

■ 総販売数量、GFBともに順調に推移



(注1) 中国事業部は含まれておりません。
 (注2) 2005年度第1四半期決算において、海外たばこ事業については2005年1-3月の実績を連結しております。

2005年4-6月期の進捗(医薬事業、食品事業)

医薬事業

「JT PLAN-V」で掲げた事業目標の達成※

◆ JTT-305が臨床入り、事業目標達成

※「世界レベルの新薬になりうる化合物の3品目の臨床入り」
2004年度にJTK-303、JTT-302が臨床入り

食品事業

黒字体質を確固たるものにするとともに、更なる
事業価値増大を目指す

◆ 第1四半期は前年度に引き続き、好調に推移

2006年3月期業績予想(2005年4月27日公表)

- 第1四半期実績は見込に対し、順調に推移
- 現時点で本決算時の見込は変更しない

(単位:億円)

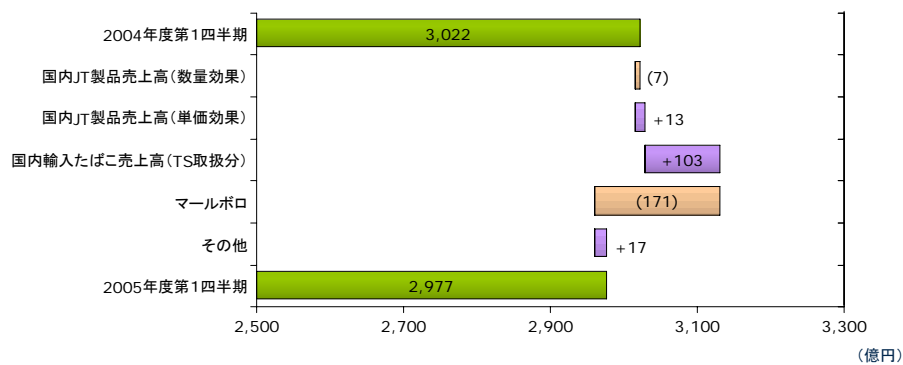
	2005年3月期 実績	2006年3月期 業績予想	増減
売上高	46,645	46,400	△ 245
EBITDA	4,001	4,230	228
営業利益	2,733	2,970	236
経常利益	2,702	2,930	227
当期純利益	625	1,800	1,174
ROE	4.2%	11.4%	7.2%
FCF	2,694	1,080	△ 1,614

2005年度第1四半期実績の増減要因分析



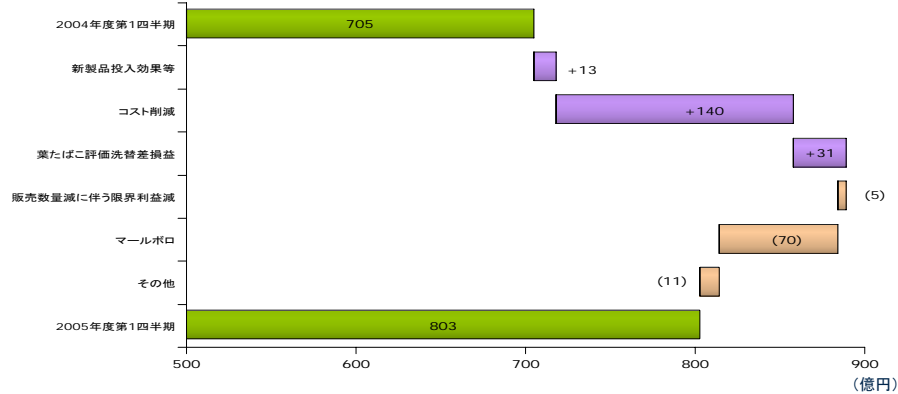
2005年度第1四半期実績

- 国内たばこ事業税抜売上高 3,022億円→2,977億円(45億円減)
 ◆ (参考) 輸入たばこを除く 2,194億円→2,045億円(148億円減)



2005年度第1四半期実績

国内たばこ事業EBITDA 705億円→803億円(97億円増)



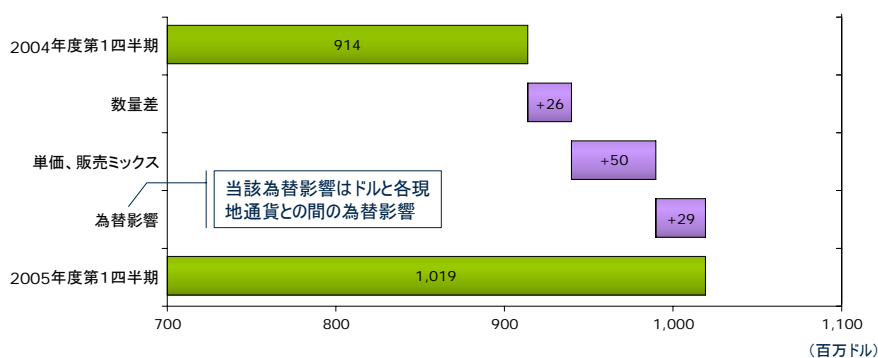
国内たばこ事業営業利益 508億円→596億円(87億円増)

◆ 減価償却費(注) 197億円→207億円(9億円増)

(注) 減価償却費=有形固定資産償却費+無形固定資産償却費+長期前払費用償却費+連結調整勘定償却額

2005年度第1四半期実績

海外たばこ事業税抜売上高 914百万ドル→1,019百万ドル(105百万ドル増)

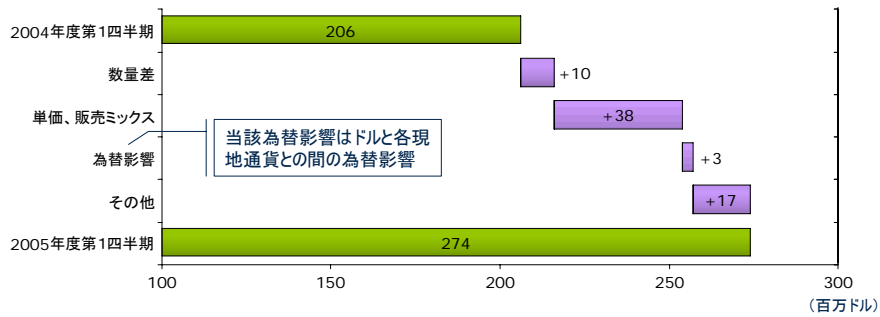


(参考) 海外たばこ事業税抜売上高 986億円→1,065億円(78億円増)

◆ 連結円ドルレート 107.36円→104.55円(2.81円高)

2005年度第1四半期実績

海外たばこ事業EBITDA 206百万ドル→274百万ドル(68百万ドル増)



(参考) 海外たばこ事業EBITDA^(注1) 187億円→248億円(60億円増)

海外たばこ事業営業利益 138億円→195億円(57億円増)

◆ 減価償却費^(注2) 49億円→53億円(3億円増)

◆ 連結円ドルレート 107.36円→104.55円(2.81円高)

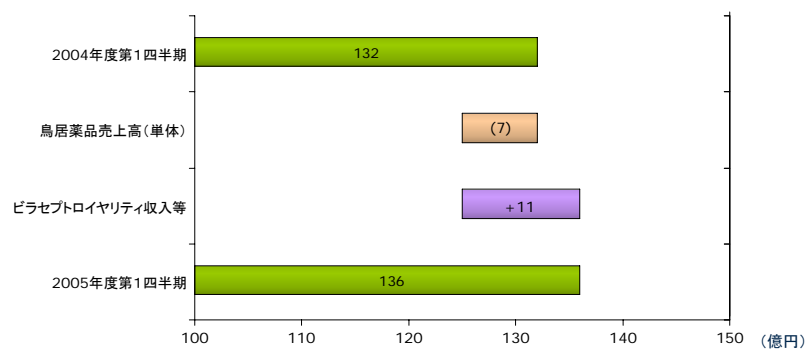
(注1)ロイヤリティ支払後 (注2)減価償却費=有形固定資産償却費+無形固定資産償却費+長期前払費用償却費+連結調整勘定償却額

15



2005年度第1四半期実績

医薬事業売上高 132億円→136億円(3億円増)

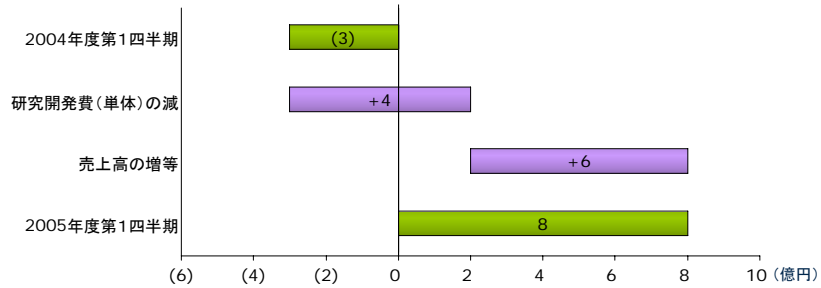


16



2005年度第1四半期実績

■ 医薬事業EBITDA $\Delta 3$ 億円 $\rightarrow 8$ 億円(11億円増)



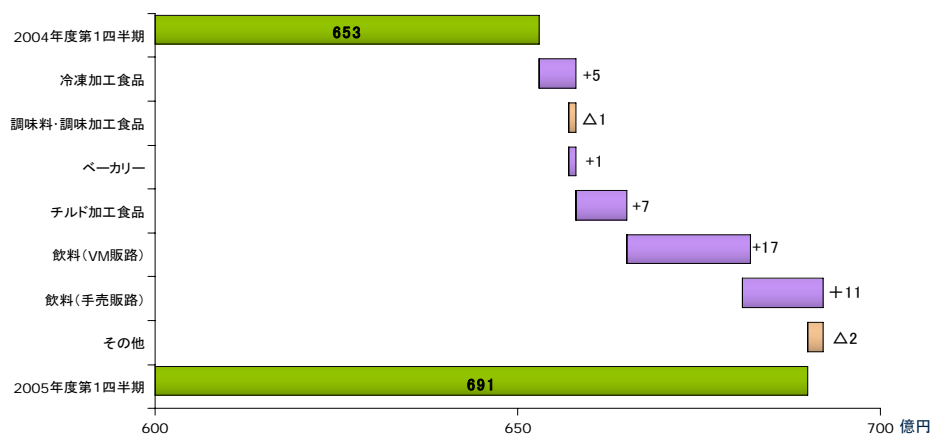
■ 医薬事業営業利益 $\Delta 12$ 億円 $\rightarrow 0.3$ 億円(12億円増)

◆ 減価償却費(注) 8億円 $\rightarrow 8$ 億円(0.8億円減)

(注) 減価償却費=有形固定資産償却費+無形固定資産償却費+長期前払費用償却費+連結調整勘定償却額

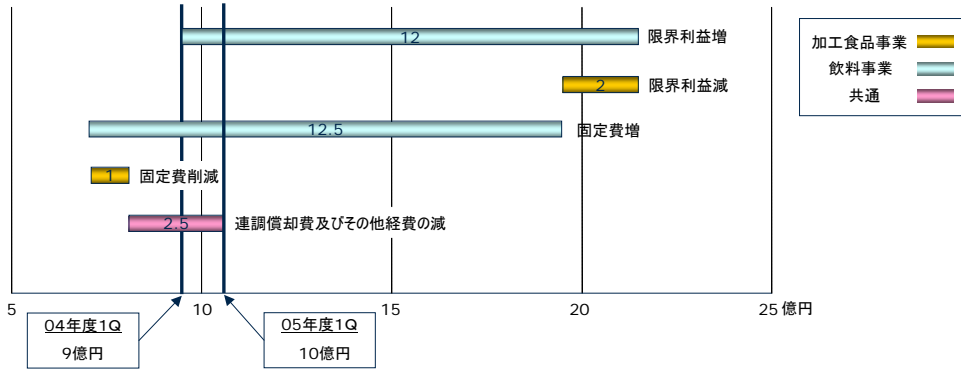
2005年度第1四半期実績

■ 食品事業売上高 653億円 $\rightarrow 691$ 億円(37億円増)



2005年度第1四半期実績

■ 食品事業営業利益 9億円→10億円(0.6億円増)



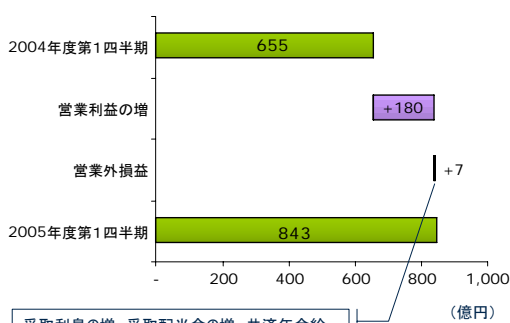
■ 食品事業EBITDA 24億円→24億円(0.4億円増)

- ◆ 営業利益増(0.6億円)、うち減価償却費減(注)の影響(0.1億円)

(注)減価償却費=有形固定資産償却費+無形固定資産償却費+長期前払費用償却費+連結調整勘定償却額

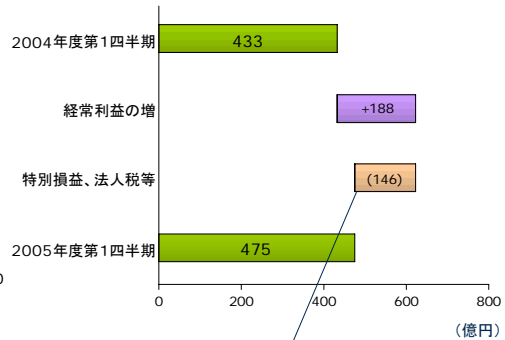
2005年度第1四半期実績

■ 経常利益



受取利息の増、受取配当金の増、共済年金給付費用の増等

■ 四半期純利益



固定資産売却益の増(+9億円)、固定資産売却損の増(△18億円)、固定資産除却損の増(△3億円)、事業構造強化費用の増(△36億円)、固定資産減損損失(△13億円)、法人税等の増(△87億円)他